

不二製油グループ本社株式会社 2022 年度第 2 四半期 決算説明会 主な質疑応答

・日時	2022 年 11 月 11 日（金）10:00～11:00		
・出席者	代表取締役社長	最高経営責任者 CEO	酒井 幹夫
	取締役 兼 上席執行役員	最高財務責任者 CFO	松本 智樹
	上席執行役員	不二製油(株)代表取締役社長	大森 達司
	取締役 兼 上席執行役員	最高経営戦略責任者 CSO	田中 寛之

<価格改定について>

Q.価格改定が進んでいる印象だが、どのような施策を進めているのか

A.価格改定は引き続き大きな課題であるが、日本の本社から価格改定の方針を明確に打ち出したことに加え、事業管理体制においても、CSO が中心となり製品と販売先、販売価格、マージン、競合状況等について確認しながら対応しており、効果が出てきている。

<ブラマーについて>

Q.通期業績予想でブラマー（米州・業務用チョコレート事業）を減額修正している理由は

A.価格改定は原料価格だけではなく人件費や、物流費等の上昇も織り込んだ価格設定を進めることができた。一方、カカオ加工設備の故障と米国景況感悪化による販売数量の減少を折り込んで業績予想を見直した。カカオ加工設備は現在復旧している。また、販売数量の減少については、米国の景況感の悪化により、低糖チョコレート等付加価値製品の需要低下を考慮した。

Q.ブラマーでの老朽化対策などの設備投資の進捗は

A.設備投資は老朽化インフラ設備の改修に重点を置き、予定通り進んでいる。

Q.中期経営計画では、ブラマーの低糖チョコレート等付加価値品の拡販を打ち出していた。来期以降のブラマーの成長性について、どのような見通しか

A.低糖チョコレート等の需要は足元では一時的に減少しているが、前年と比べ伸長は続いており、継続的な成長が可能と判断している。また、不二製油が得意とする油脂技術を活用することで、既存商品の付加価値向上を進めていくことができると考えている。

チョコレートの生産能力は昨年より向上しており、引き続き生産性の改善を進め成長を図っていく。

<リスク管理、経営管理について>

Q.米州油脂新工場の遅れやブラマーでのカカオ加工設備の故障など想定外のトラブルが発生しているが、リスク管理についていかがか

A.アクシデントは必ず発生するものとして、個社、エリアで次の手を考えている。また、エリアでの対応に加え、本社の CSO グループでも対応を進めており、リスクマネジメントをより一層強化するための手段は常に議論している。